

平成22年2月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川

TEL/FAX (0770) 62-0330

熊川宿ホームページ <http://kumagawa-juku.com>

熊川宿

鯖街道



白石神社能楽堂改修記念芸能祭(平成21年11月22日)

白石神社能楽堂改修記念行事

白石神社の境内にある能楽堂は、江戸時代の創建と伝えられ、昭和15年頃まで浦安の舞が踊られていましたが、その後使われなくなり、山車等の部材置き場として利用されてきました。この度、国や若狭町の補助を受けて、念願かなって改修工事が行われ、このほど完了しました。

お披露目となった11月22日、高木龍彦宮司による神事と、能楽堂の改修を記念して芸能祭が行われました。

初めに、永平芳広熊川区長、河合健一会長、森下裕若狭町長が挨拶、続いて真新しい舞台で、「浦安の舞」や「白石神社の祭り囃子」などが奉納され、能楽堂の完成を祝いました。

今後は、熊川区民の手でこの能楽堂を守り、伝統文化の継承に活用していきたいものです。
(2ページに関連記事)

目次

能楽堂改修記念行事	1・2
まちづくりの歩み	2・5・8・10
寄稿文	3・5
話題・近況報告	3・9・11
美水道楽博2009連携イベント	6
熊川いっぶく時代村	7
寄稿文	8
事業報告・活動報告	10
活動報告	11
活動報告	12

平成21年度 若狭町熊川宿
伝統的建造物群保存修理事業



工事前



工事中

【能楽堂改修工事の概要】

- ・屋根瓦の葺き替え
- ・柱の根元修理
- ・杉の木を使った床板
- ・折上げ式建具の取替えなど



折上げ式建具

施主 白石神社
設計・監理 宮田建築設計室
施行 株式会社 西野工務店



完成(平成21年9月)



◇若狭能食座の能舞「一人翁」が披露され、境内は暖かな空気に包まれました。



◇海士坂区の中学生在が「補安の舞」を華麗に舞っていただきました。



◇境内は大寒冷え込みましたが、多くの人が訪れ、能楽堂の完成を祝いました。



◇小浜市と若狭町のメンバーの太鼓グループ「撫子太鼓」がオープニングを盛り上げました。



◇熊川区の青年と子どもたちが「白石神社の祭り囃子」を奉納し、芸能祭を締めくくりました。

能楽堂改修記念芸能祭
とき 平成21年 11月22日(日)
ところ 白石神社能楽堂

平成6年(1994)	平成5年(1993)	昭和60年(1985)	昭和58年(1983)	昭和56年(1981)	昭和50年(1975)	昭和43年(1968)	年月	
6	11		7	10	6	9	3	
町並み通信「宿場町」創刊(4年間発行)	熊川護貞氏が熊川宿を二度目の訪問、講演される。	日本ナショナルトラスト(現東京大学西村幸夫先生)の調査	「熊川宿町並み保存特別委員会」となる	「熊川宿町並みを守る会」が誕生	福井大学による町並み保存対策調査(福井大学渡部典清氏等による)	「ふるさとの歴史を語る会」が発足	熊川文書が県指定文化財となる	若狭熊川宿まちづくりの歩み 年 事柄・行事・活動
					福井大学福井半洋氏の熊川宿の発見			

町並み通信第20号発刊にあたり

平成21年度熊川区長 永平 芳広

年7月30日
に「熊川区
自主防災会」
の総会を行い、

早いもので熊川宿が「重要伝統的建造物群保存地区」、「歴史国道」、「水の郷百選」に国から選定・指定を受けて14年目を迎え、また「町並み通信」創刊されて10年目を迎えました。

区民全員対象で熊川区の家屋を守る考えを確認し、年末には「熊川区自主防災会の防災訓練(情報伝達訓練)」を実施し、区民の皆さんが多く参加され、熊川宿を守っていく意識を共有しました。

でも、熊川宿まちづくりの情報発信並びに出来事等をより各方面へ発信すべく、また、区民の皆様はじめ関係各位のお力添え・ご協力をいただき、今回の発刊となりました。今後とも継続して刊行して熊川宿発展の情報発信としていたたくためにもご協力をお願いいたしますと共に、編集の方々のご苦勞に感謝いたします。

この「町並み通信」におきま

熊川宿の活性化に向けて

若狭町議会議員 松岡 喜一

を申し上げます。

この間、熊川宿におきましては「てっせん踊りの復活」、「語り部の会の発足・育成」、「つる細工の実践」、「いっぶく時代村の開催」、「まちづくりフォーラムの開催」等数多くの催しが行われ、また「山車の復活」、「見送り墓の新調」、「番所の復元」、「能楽堂の改修」、「各家の修景」等や各種の町並み整備が多く進められ今日に至っており、熊川宿として「やすらぎ、ほっとするまちなち」と評価されていると思います。

賀春 謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

いよいよ形から中身の充実を目指す。実際に目を移し、これら美しく連立する町並みの風情を有効的に活用し地域活性化に向けなければなりません。本来の村づくりは内面・心の目覚め、連帯感の協調からスタートしたものでしたが、町並みの完成は個人の出資が多かったものの行政主導や外観のこだわりに終始した感もぬぐえないところであります。

しかしその一方で、時代の流れと言いますか、高齢化社会となり熊川は特にその傾向が進んでおり、多くの空き家が目立ってきております。今後はこの空き家対策を考えていく必要があります。そのよ

旧年中の皆様方の熱いご厚情を謝しますとともに新しい年の飛躍を心から念じ申し上げます。さて、熊川宿の再生に本格的に取り組みされてから久しいことですが、以来幾多のハードルを超えながら充実の一途をたどりつ今日を迎え、見事な町並みが復活いたしました。地元はもとより歴史・文化を継承していく人々にとってこの上ない喜びとするところであります。これまで陰に陽に支え運営にいそしまれた関係者各位には心より敬意

この間の地域の過疎は町の議会で指摘を受けるほどに急速に進みました。今後、空き家対策、少子化対策、連帯感の高まりをもって出迎れたソフト面の強化を心がけねばなりません。

うな中、昨年、熊川区自主防災組織の立ち上げ準備をして、平成21

でも、熊川宿まちづくりの情報発信並びに出来事等をより各方面へ発信すべく、また、区民の皆様はじめ関係各位のお力添え・ご協力をいただき、今回の発刊となりました。今後とも継続して刊行して熊川宿発展の情報発信としていたたくためにもご協力をお願いいたしますと共に、編集の方々のご苦勞に感謝いたします。

この間の地域の過疎は町の議会で指摘を受けるほどに急速に進みました。今後、空き家対策、少子化対策、連帯感の高まりをもって出迎れたソフト面の強化を心がけねばなりません。

年	月	事項・行事・活動
平成11年(1999)	1	語り部の会 町内から募集して学習会の開催
	1	「熊川宿伝統芸能保存会」発足
	3	「熊川宿宿屋デザインガイド」策定
	5	道の駅交流施設「四季彩館」オープン
	10	道の駅「若狭熊川宿」オープン
	10	中ノ町景観整備完成(中条橋・前川石積み護岸・地産風船橋など)
	10	熊川いっぶく時代村開催 (中ノ町景観整備完成記念)
平成12年(2000)	1	「熊川いっぶく時代村実行委員会」設立
	6	町並み通信「熊川宿」創刊 (年2・3 回発行)
	7	「手づくり郷土賞」(建設賞)の認定 熊川いっぶく時代村の開催 (以後毎年開催)
	4	一筆遊歩道整備完成
	6	松木神社参道・散策路整備完成
	6	御蔵道・西口公園整備完成
	7	重伝建選定5周年記念まちづくり フォーラム開催
	8	やぐら完成竣工
	10	白石神社参道の灯籠復元
平成13年(2001)	12	「若狭熊川宿伝統文化復活継承基 本構想」(伝統文化活性化マスタ ープラン)策定
		「ふるさと広報紙コンクール」で 呉町村長賞受賞(あすの橋井県を 創る協会)

熊川宿のこれまで そしてこれから

若狭熊川宿まちづくり特別委員会 会長 河合 健一

この度、町並み通信「鯖街道熊川宿」第20号記念号を発行することが出来ました。これひとえに関係各位のご支援と、区民の皆様のご理解ご協力のおかげと感謝しております。

熊川宿は、先人のご尽力により、住民の気持ち一つになり、平成8年「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

その後、国・県・町の絶大なご指導ご協力のおかげで、旧逸見勘兵衛家の修理、地道風舗装や電柱の移設、前川改修など町並みの整備が完成し、また各家屋の修景なども進み、宿場町として美しい町並みがよみがえりました。

整備の完成とともに、伝統芸能や祭りの復活、いっづく時代村の開催など、地域にも活気が出てきました。

文化庁の伝建事業や国土交通省の日本風景街道事業、そして若狭町の大きなご支援をいただき、たくさんの事業を実施することができました。本当に有難いことです。

以前から行政の担当課は「町並み保存は観光目的でなく文化財や宿の歴史的価値観の高揚のものである」と断言されました。然し見学に訪れる人盛りの昨今、一見成功一段落の安堵感も否めません。地域は既に保育所が消え、JA支店が閉鎖の告知、小学校の生徒激減の危機転機で

平成18年度には、熊川区により「第二次熊川まちづくりマスタープラン」が策定され、まちづくりの目標が示されました。また「熊川宿おもてなしの会」や「熊川宿ファンクラブ」、「熊川宿ほたる生息研究会」が発足しました。そして「熊川宿の防災まちづくり計画」が策定され、「熊川区自主防災会」も組織されました。まだまだささやかな活動ではありますが、今後益々まちづくりの輪を広げて行ってほしいものです。

昨春秋には、白石神社の能楽堂が復元されました。また、この程、福井県より「文化功労賞」をいただきました。日頃の皆様のまちづくり活動が認められたものと大変喜ばしく思います。

今後も、駐車場や前川などの清掃を続けて、熊川宿の歴史や文化、町並みと、山・川など美しい自然

あることを再認識し後世の展望を確たるものにしていかねばなりません。今一度意気を高め、暮らす人々の活性化を皆の知恵と行動で示して行きましょう。これこそが熊川宿町並み復元の真の意義をもたらすものと付記しペンを閉じます。

との調和を保ちながら、大杉をはじめとする地区全体の活性化を図っていきたくと思います。

少子高齢化や空き家など難しい課題のあることも事実です。明かりの灯る家が増えるように、所有者の意向を尊重しながら、熊川に住むことを希望される方との話し合いを進めていきたいものです。

若い人達に定住してもらうため、地域産業の振興にも努めたいです。まちづくりに終わりはありません。

これから若い人の新しい感覚で、みんなで力を合せて「みんながよくなるまちづくり」を楽しく進めてほしいと思います。そして、その成果をこの「町並み通信」で全国に発信し、交流が深められることを望みます。

今後共、なお一層のご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願いたします。

年	平成14年(2002)	平成15年(2003)	平成16年(2004)	平成17年(2005)
3	3	3	3	2
6	6	6	6	8
9	9	9	9	10
10	10	10	10	12
年月	3 5 9	3 8 9	3 8 9	2 8 10 12
事柄・行事・活動	権現神社修繕完了 白石神社山車復元(40年ぶり)完成 見送り幕(県指定)復元完成 義民館改修 松木神社350年祭	「若狭熊川宿の伝統芸能」発刊 熊川番所復原完成 熊川いっづく時代村(町制50周年記念・若狭路博2003上中ステージ)	「まちづくり憲章」「まちづくり中合せ事項」を制定 ブータン王国との歴史的建造物保存をテーマにした交流 町並み通信「鯖街道熊川宿」第10号記念号発行	ブータン王国との歴史的建造物保存をテーマにした2度目の交流 宿場館にコインロッカー・レンタサイクル設置 韓国の鯖街道にもんだ交流(安東海防柳泳東氏など) 下・上ノ町景観整備完了(宿場全域の景観整備完了)
				

若狭路もてなし

食フェア in 若狭町

【熊川会場】

とき：平成21年
9月20日±21日開催

若狭町を会場に開かれた「美水道楽博2009」熊川宿においても食のおもてなしが行われました。



熊川宿まちづくり女性の会の協力で、来場者に熊川名物「長揶鍋」が振る舞われました。



(社)びわ湖高島観光協会による
ボン菓子の実演販売が人気を集めていました。



焼鳥や飲み物、特産品コーナーも賑わっていました。

美水道楽博2009連携イベント

熊川いっぷく時代村

【プライベート】10月17日開催

とき：平成21年

同時開催◎松木神社例祭◎若狭・三方五湖ツーデーマーチ



松木神社祭礼では神事の後、献茶、舞踊、剣術が披露されました。



ツーデーマーチ熊川宿コースに多くのウォーカーが訪れました。



参詣者とウォーカーに長揶鍋が振る舞われました。



手裏剣道場や伝統工芸の屋台が設けられ、人力車や虚無僧が往来しました。

晴天に恵まれ大盛況のうちに終えた時代村を、アンケートによる感想を交えて報告します。



良い天気で楽しく見れました。
来るたびにほのぼのとした気分になります。
これからもずっと続けて下さい。

第10回 熊川 いっぷく 時代村

とき：平成21年

10月18日 開催

ところ：

鯖街道熊川宿一帯

(福井県三方上中郡若狭町熊川)

主催：熊川区・熊川いっぷく時代村実行委員会

後援：NKK水産流通局・福井新聞社

FDI福井放送・福井テレビ局・FM福井

協賛：菅原商店 福井

山車巡行

風情があってとてもいい。
水が美しい！



長操鍋が
とてもおいしかった！



オバマ氏も登場!?

鯨籠屋でござる in 熊川宿

もっと近くに
駐車場があるといいな。



孝子と七物語 大八車レース

音ながらのイベントがたくさんあって子どもから大人まで楽しめています。子どもが楽しみにしています。船組工がお気に入りです。

お餅つきも、
おもしろかったよ。



ちんどん屋

ちんどん屋さんの音とともに
古い町並みが素敵。



着物を着たお姉さんや
ハッピーを着た人など
時代村の感じがいい。



人力車

屋台職人・互芸



ブリキの 金魚レース

金魚レースが
楽しかった！



浦安の舞



古武術披露

わたしの誇り

吉井 靖博

相手方「吉井さんは、どこに住んでいるんですか」

私「若狭町の熊川というところです」

相手方「ああ、熊川宿の熊川ですか。良いところですね」

いろんな場面で自己紹介するときに、「熊川」の住民であることが密かな自慢になっている（最も冬は雪がすごくて大変でしょう、と言われることもあるけれど……）。

小6の秋、ナショナルトラスト（現東京大学教授西村幸夫先生）の調査に、小学生だった私たちも参加させていただいた。その前から熊川は宿場町として栄えていたことは聞いて知っていた。が、この

今度の三月に小学校の同級会が京都で行われます。その折には熊川宿ファンクラブのことをお知らせして、県外にいる人々

調査に参加し多くの方々からお話を伺い、改めてその歴史や文化に触れ、多くのことを知ることができたと今更ながら感じている。

その後中学・高校と進むにつれ熊川で過ごす時間は徐々に少なくなり、東京の大学へ進学してからは熊川に帰ることは年に2-3回となった。しかし帰省するたびに町並みの整備が進む環境は確かに変化していく熊川を実感することができた。また大学を卒業し、熊川に戻ってからは、先進地区の見学に連れて行っていただいたり、いっぶく時代村のスタッフに加えていただくなど様々な機会をいた

にも入会を勧めたいと考えています。熊川の皆さん、どうかお元気で楽しくお暮らしください。

いただいた（何の戦力にもならなかったが）。

多くの方々の努力が実り、今では宿場町としての趣きが新たに変わった。以前と比べると確かに大きく変化した熊川だが、私たちにとってはやはり普通に生活する環境である。しかし都会に暮らす人からは熊川の環境に何か感じるものがあるのだろう。熊川を訪れる多くの観光客の皆さんをみて思うことだ。この環境を守り、更に発展させることは簡単ではない。私自身もお手伝いできる部分は少ないが、この「熊川」で生活できることを誇りにして日々を過ごしたいと思う。

話題 近況報告

井戸ポンプ補修 (7月・8月)

風雨に晒され傷んだ井戸ポンプ舎の防腐剤を塗り替えました。

また日本風景街道の支援を受けて、傷んだがっちゃんポンプ本体を取替えました。

子どもたちには物珍しく大人には昔懐かしい宿場館前のがっちゃんポンプは、訪れる観光客の癒しの場となっています。

歴史環境講座 (8月30日 若狭町歴史文化館)

全国各地で伝建地区などを取材して来られた「季刊まちづくり」の編集長八甫谷邦明先生が



「町並み保存から歴史遺産を活かしたまちづくりへ」と題して講演。奈良県今井町や千葉県香取市（佐原）の町並み保存を例にあげ、「住民主体のまちづくりと組織の必要性、住民が地域の歴史を学び、活動に活かすことが重要」と話されました。

ファンクラブ活動 (9月・10月)

熊川宿ファンクラブの周知を図るため、若狭路もてなし食フェアと熊川いっぶく時代村に合わせて入会者と会員を対象に新米が当たる抽選会を行いました。

また勘兵衛茶屋の喫茶割引券と熊川いっぶく時代村のバザー券を発行しました。

8月末からは勘兵衛家ギャラリーで、若狭町出身明石市在住の会員藤田英夫氏の写真展を開催しました。

平成20年(2008)

11	11	10	9	6	6	3	2	年月	
「水紀行講座」開催	「あしたのまち・くらしづくり活動賞」振興奨励賞受賞(あしたの日本を創る協会)	「あしたのまち・くらしづくり活動賞」優秀賞受賞(あすの福井県を創る協会)	「福割協議会」開催	「熊川宿前川」が平成の名水百選(環境賞)に選ばれる	「熊川宿ファンクラブ」設立 ・熊川宿内案内看板の作成	「熊川宿ファンクラブ」設立準備 ・風景街道ルート研修・意見交換会(丹後半島「古代ロマン街道」)(12/8) ・子ども語り部育成・テキスト作成 ・町並み防災研修(東近江市五個荘金堂地区)(3/2) ・おもてなしの金茶道研修・ギャラリー運営	19年度日本風景街道事業 「まちづくり活動団体の紹介」パンフレット発行	「広報紙コンクール」単位団体の部「優秀賞」(福井テレビ賞)受賞(あすの福井県を創る協会)	事例・行事・活動



昔も今も 変わらぬものは…

熊川小学校校長 山田 政孝

「熊川いっぶく時代村」当日は申し分のない秋晴れで、重要伝統的建造物群に指定された町並みの白壁が澄み渡った蒼空と鮮やかなコントラストを描いて、輝きを放っていました。

早朝から大勢の人が繰り出した街道に子ども達が曳く山車が練り出し、パフォーマンスが演じられ、観光土産を買い求める人達の喧嘩で、終日活気に溢れていました。この日の光景は、馬籠宿にも負けない観光地の観が致しました。そして、舗街道の要衝として栄えていた頃もこのような賑わいではなかったのかと往事が偲ばれるようでした。

私は、ある方から、熊川宿に遺されている文献の中に、次のような事が書き記されていると教えていただきました。

京都から旅に出た女性が熊川宿まで通り着いたところで急病になり帰れなくなりました。不憫に思った駕籠かき人足の人達が



熊川いっぶく時代村 子ども祭り部

番所に願い出て、手間賃無料で京都まで駕籠を走らせ、無事送り届けてやった…

古文書は全くの門外漢なので出典は知りませんが、当時の宿の人達の優しい心遣いや温かい人情が伝わってくるエピソードだと思いました。それは、脈々と受け継がれて今に至っています。

普段は静かな佇まいを見せる町並みですが、そこには地域の活性化や振興に取り組む皆さんがいらつしやいます。また、宿に伝わる伝統文化の復活・継承に情熱を傾けていらつしやる皆さん、或いは蜚飛び交う古里の再生を夢見て挑戦されている皆さん等々、地域を前に進めようとする人の力があります。

赴任以来、親しくこのような方々と接しさせていただいて思うのは、どの方も優しく、温かく、絆を大切に生きていらつしやるということです。

本校も、そして本校に学ぶ子ども達も、地域の皆さんの温かな眼差しの中で育んできたのだということを感じ、感謝して止まない今日この頃です。



川柳 短歌で 町並み散歩

初詣で

笑顔が交わす白い息

手で拭いた

曇りガラスの向こう側

振り出しへ戻れ双六

意地を見せ

功

◇◇◇

孵化したる

聖の幼虫受け継ぎて

児らは飼育の夢を語りぬ

朝日浴び

染めたるごとき紅もみぢ

松本神社は錦秋のとき

熊川宿

煉瓦の色の格子戸に

ほのかなぬくもり昔を伝ふ

宮崎 洋美

年月	平成21年(2009)	平成22年(2010)
1	「熊川宿防災まちづくり計画」策定	
2	「熊川宿防災まちづくりシンポジウム」開催	
3	20年度日本風景街道事業 ・初期河火訓練(1/25) ・町並み防災研修(京都市産業坂伝建地区など)(3/1) ・宿場内の美化活動(3/27・29) ・伝統芸能の後継者の育成(踊り方テキスト作成) ・河火器収納箱の製作 ・宿泊施設運営研修	
6	お泊り処「熊川宿勤兵衛」オープン(熊川宿おもてなしの会)	
7	「熊川区自主防災会」設立	
11	白石神社能楽堂改修・記念行事	
12	まちづくり委員会が県文化功労賞受賞	
2	町並み通信「熊街道熊川宿」第20号記念号発行	
3	21年度日本風景街道事業 ・伝統文化の保存と活用(能楽堂修理完成記念行事11/22) ・防災まちづくりの推進(防災訓練の実施12/6) ・まちづくり情報の発信(町並み通信第20号の発行12/1) ・観光交流の推進(水彩画教室10/25)11/3月予定	



資料協力：若狭町文化財室
まこと：若狭熊川宿まちづくり特別委員会 広報係
※なお調査不行き届きの点はご容赦下さい。

平成21年度 日本風景街道

事業内容

(平成21年12月末日現在)
※予定を含む

- ・町並みの景観保全
(大杉前川の土砂あげ)

- ・伝統文化の保存と活用

(白石神社能楽堂修理完成記念行事ほか)

- ・防災まちづくりの推進

(防災訓練の実施)

(防災訓練(情報伝達訓練)、安否確認、区内巡視)

住宅用火災警報器の講演

- ・まちづくり情報の発信

(町並み通信第20号の発行)

- ・特産品の研究

(葛に関する研究)

- ・観光交流の推進

(水彩画教室・案内板)

(水彩画教室・案内板)



風景画教室



能楽堂修理完成記念行事

話題 近況報告

熊川宿の切手を発売

(熊川郵便局)

建築家の吉田桂二先生が描かれた熊川宿の風景画10点を80円切手にしたオリジナル切手が発売されました。限定2,000シートを作成し、1シート1,200円で販売、現在は熊川郵便局で取り扱っています。

10月18日には「熊川いっぶく時代村」で贈呈式が行われました。



まちづくり委員会が 県文化功労賞を受賞

(12月15日・福井)

若狭熊川宿まちづくり特別委員会は、文化財保護の意識高揚と日頃のまちづくり活動が認められ、平成21年度福井県文化功労賞を受賞しました。



熊川宿防災まちづくり計画 熊川区自主防災会 事業報告

(平成21年12月末日現在)

伝達地区若狭町熊川宿の

- ・防災まちづくり計画策定 (平成20年度)

- ・初期消火訓練実施 (平成21年1月25日)

伝達地区若狭町熊川宿の

- ・熊川宿防災まちづくりシンポジウム開催 (平成21年2月1日)

(平成21年2月1日)

- ・町並み防災研修実施 (平成21年3月1日)

伝達地区若狭町熊川宿の

- ・防災まちづくりマニュアル発行

- ・防災まちづくり計画報告書発行 (平成21年3月)

(平成21年3月)

- ・熊川区自主防災会発足・総会 (平成21年7月30日)

(平成21年7月30日)

- ・防災訓練(情報伝達訓練)・講演会開催 (平成21年12月6日)

(平成21年12月6日)

- ・年末夜回り警戒実施 (平成21年12月28日)



7/12

有松・足助の町並み研修

(若狭熊川宿まちづくり特別委員会)

有松では重厚な蔵が並ぶ服部邸や東海道の古い町並みを見て回りました。途中、若い方々が学校机の廃材を利用して小物を作っていました。

豪華なからくりの山車や有松絞りの実演も見せていただき、予定時間をオーバーしての充実した研修となりました。

7/5

まちかどふれあいハーモニ

(若狭町・熊川宿おもてなしの会)

初めに熊川宿おもてなしの会女性グループが大正琴の演奏で、演歌「熊街道熊川宿」を合唱しました。

続いて福井を中心に活躍しておられる「雅抄会」の皆さんが唱歌や童謡などを演奏、町家の佇まいにお琴の調べが流れ、訪れた聴衆を魅了しました。



続いて、中馬街道とも塩の道とも呼ばれる足助を訪ね、昔ながらの仕事を再現した三州足助屋敷を見学しました。牛や鶏が鳴き、鍛冶屋や桶屋など昭和の時代の原風景がありました。



紅葉の名所として知られる香嵐溪の川原には多くの人々が涼を求めて遊んでいました。北川もこのような講もが安全に遊べる川になってほしいと思いました。



10/25

水彩画教室 (熊川宿おもてなしの会)

秋たけなわの熊川宿で水彩画教室が開かれました。日本風景街道事業の一環で開かれたこの教室は、上中中学校の元美術講師井関綾さんを迎え、内外から約15人の参加がありました。参加者はそれぞれ思い思いの場所で、講師のアドバイスを受けながら熊川宿の風景をスケッチしていました。仕上がった作品は、旧逸見勘兵衛家ギャラリーで展示されました。



10/10

一川氏が熊川音頭を取材

「民謡一川会」の代表一川明氏と踊り手の方が、「民謡の祭典」での公演を前に、熊川音頭を習いに来られました。公演は、11月29日に小松市公会堂で開かれました。



8/15

納涼盆踊り (熊川区・熊川自主学級 熊川宿伝統芸能保存会)

恒例の納涼盆踊りが開かれ、流行踊り、上中音頭、てっせん踊り、熊川音頭が踊られました。焼きそばの屋台や射的のゲームコーナーは子どもたちの歓声で湧いていました。また9月6日には中秋の名月のもと、得法寺境内でお月見踊りが行われました。



12/28

年末夜回り警戒 (若狭消防署上中分署 熊川区ほか)

恒例となった年末の夜回り警戒が行われ、区民や各団体から大勢の参加がありました。区民らは上ノ町と下ノ町の端から「火の用心」を呼びかけながら熊川児童館へ集合、若狭消防署上中分署の年末特別警戒出発式に参列し、みんなで火の用心を再認識しました。

熊川区民を対象に防災訓練(情報伝達訓練)が行われ、有線放送の告知で、区民の安全確認と区内巡視が行われました。その後区民は熊川児童館に集合、約70名が若狭消防組合上中分署署員から住宅用火災警報器設置の必要性についてお聴きしました。

12/6

防災訓練と講演会 (熊川区自主防災会)



11/26

文化庁清永調査官を囲む会 (会：小浜市ふれあいセンター)

文化庁参事官付文化財調査官の清永洋平先生が熊川宿の町並みの修理指導に来られ、小浜市内で開かれた懇親会で「伝建事業の核は文化財保存のための修理事業です。もっと伝建地区の良さをアピールしていくことがこの事業の推進力になり、地域振興にも繋がると思います」と語られました。11月28日には、大原会館(小浜)で「重伝建事業の概要」と題して講演と、小浜西組の町並みと熊川宿で修理見学会がありました。

— 広報部からお知らせ —

作品募集

作文

感想文・旅行記 など

写真

熊川のなつかしい写真 など

絵画

スケッチ・水彩画 など

川柳

短歌や絵手紙も歓迎!

締切はありません。常時募集しています。応募や情報などお気軽にお寄せください。

お問合せ・ご応募は
若狭熊川宿まちづくり特別委員会
TEL・FAX (0770) 62-0330 (宿場館)

あとがき

若狭路もてなし食フェア熊川宿会場は、熊川地区公民館への協力で、賑々しく開催することができました。なかでも、(社)びわ湖高島観光協会によるボン菓子への迫力に抜群の集客力が見られました。

そして第10回を数える熊川いっぶく時代村は晴天に恵まれ、朝早くから大勢の方が訪れてくださいました。出店者、各団体、区民の方々に協力いただき、大盛況のうちに終えることができました。本当にご苦労様でした。

白石神社の能楽堂が実に70年ぶりに復元されました。今後この能楽堂で伝統芸能に親しむ催し物が開かれることで人々が集まり、未永く栄えてほしいものです。広報紙「町並み通信」はこの度、日本風景街道の支援を受け、第20号記念号を発行させていただきました。創刊以来まもなく丸10年を迎えます。これまで80余名の方々のご寄稿に感謝いたしますとともに、これからも皆様の協力をいただきながら、充実した紙面づくりに努めたいと思います。

(編集委員)